

本日の流れ(仮)

1:あいさつ

2:MMM2019報告

3:事務局報告

4:休憩

5:意見交換

6:MMM2020とあいさつ

MMM2019共同代表挨拶

MMM2019報告

MMMとは

茨城県ひたちなか市ひたちなか 海浜鉄道湊線沿線を舞台に開催する現代アートプロジェクト

産 主に那珂湊地区商店街、ひたちなか海浜鉄道湊線 **学** 主に大学生、大学教員 **芸** アーティストおよび美術関係者の三者からなる実行委員会により運営されており、**芸術表現と地域との協働によるまちの活性化**を目的として活動しています。

引用 : <http://minato-media-museum.com/information/>

開催概要

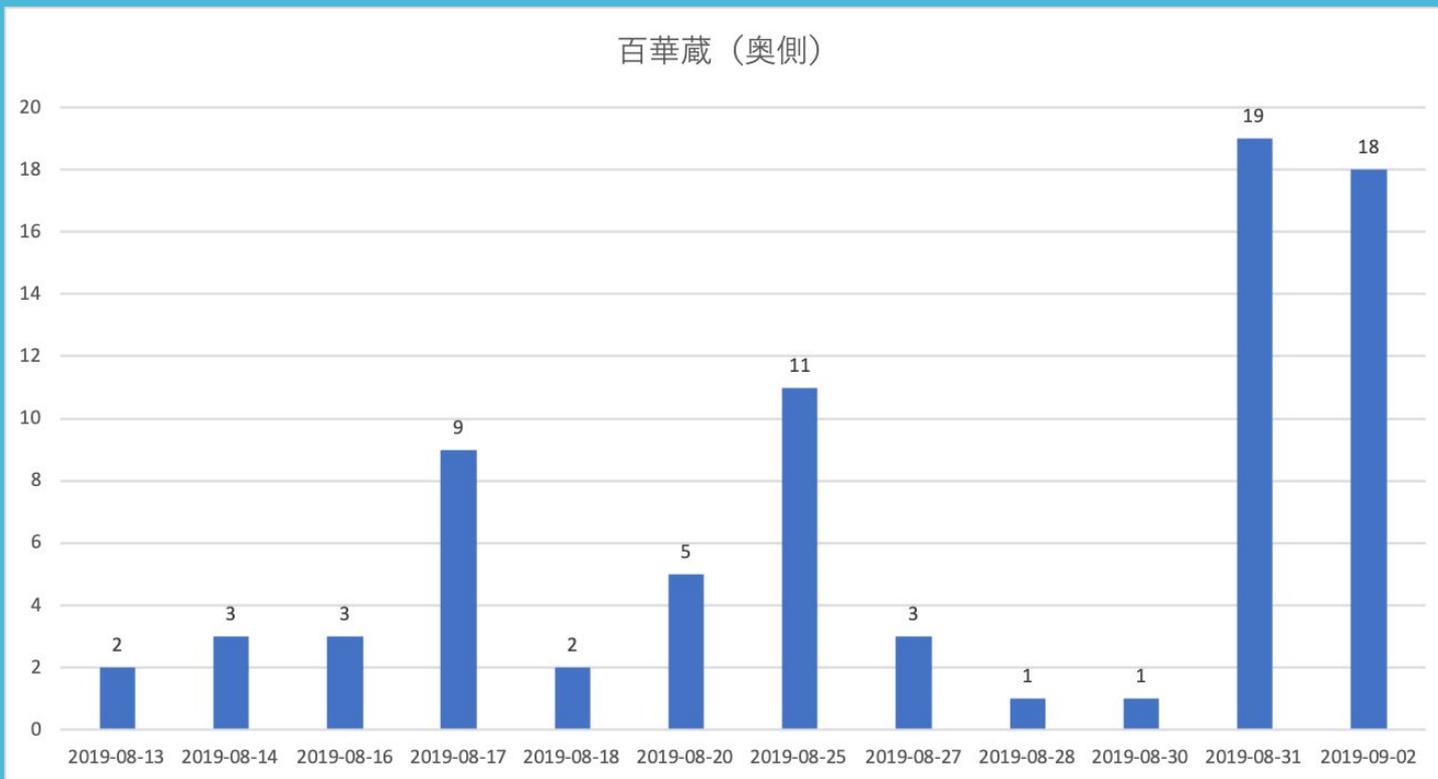
開催期間：8月11日（日）～8月31日（土）

テーマ：**つながる。もこもこつながる。**

産・学・芸という**普段関わり得ることのない三者**が、鑑賞者と
製作者として、分割されることなくつながっている
=**MMMの特殊性**

そのつながりを、もっと外へと、**もこもこ**と広げていきたい！

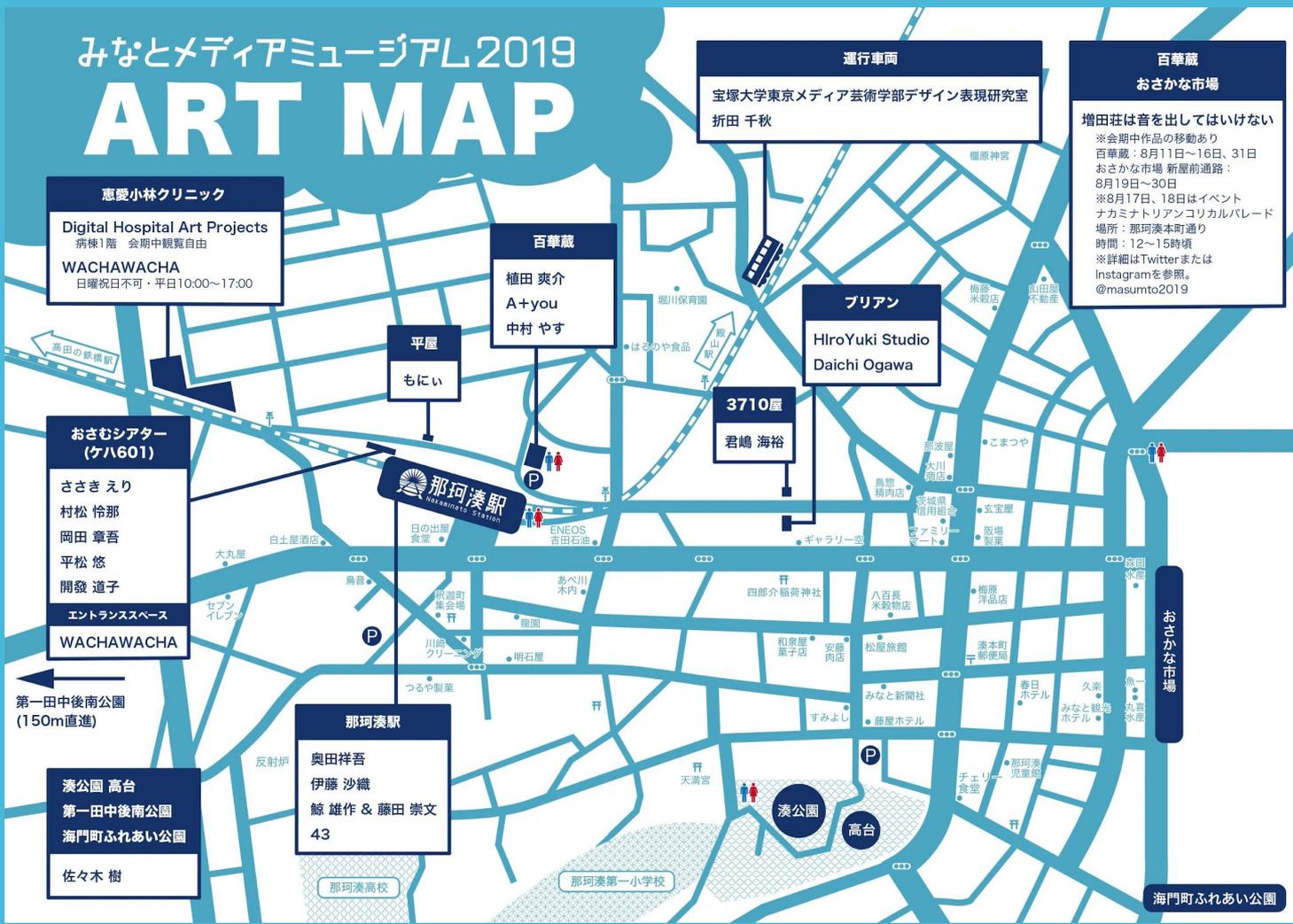
来場者数



* 実数ではなく、**相対的な推移**として見てください！

みなとメディアミュージアム2019

ART MAP



恵愛小林クリニック
Digital Hospital Art Projects
病棟1階 会期中観覧自由
WACHAWACHA
日曜祝日不可・平日10:00~17:00

おさむシアター (ケハ601)
ささき えり
村松 怜那
岡田 章吾
平松 悠
開発 道子
エントランススペース
WACHAWACHA

湊公園 高台
第一田中後南公園
海門町ふれあい公園
佐々木 樹

那珂湊駅
奥田祥吾
伊藤 沙織
鯨 雄作 & 藤田 崇文
43

平屋
もにい

百華蔵
植田 爽介
A+you
中村 やす

運行車両
宝塚大学東京メディア芸術学部デザイン表現研究室
折田 千秋

3710屋
君嶋 海裕

プリアン
HlroYuki Studio
Daichi Ogawa

百華蔵
おさかな市場
増田荘は音を出してはいけない
※会期中作品の移動あり
百華蔵：8月11日~16日、31日
おさかな市場 新屋前道路：
8月19日~30日
※8月17日、18日はイベント
ナカミナトリアンコリカルバレード
場所：那珂湊本町通り
時間：12~15時頃
※詳細はTwitterまたは
Instagramを参照。
@masumto2019

展示場所

展示作品

MMM

みなとメディアミュージアム

海門町ふれあい公園

大賞



本展では茨城県立那珂湊高等学校の生徒を対象に、学生それぞれにとっての「那珂湊らしい場所/風景/色合い」に関して、質問紙による統計調査を行った上で制作を行った。本展での制作の目的は、学生それぞれが抱く**那珂湊に対する個人的記憶**あるいは経験の集積とそれらの統計化を通して、個人的記憶と集合的記憶の境界について定性的かつ定量的に考察することにある。那珂湊高等学校に在学する学生たちの多くは卒業後、進路の関係から那珂湊を離れる傾向にあるという。彼らがある時**どこかでふと高校生活を思い返す際に、本作品がそれを鮮明にさせる記憶の基点**に建つものとなれば幸いである。

◎ 筆頭制作者 ◎ 佐々木 樹/Miki SASAKI ○ 共同制作者 ○ 今宿 未悠、高瀬 立樹、高田 彩加、羽賀 優希、山口 恵里佳

《Material poetry》—〈Topographic flags〉| NAKAMINATO / high school(2019)

MMM
みなとメディアミュージアム

審査員特別賞



あんこう♡もこもこあんこう♡ | 増田荘は音を出してはいけない

MMM
みなとメディアミュージアム

新たな取り組み

共同代表制の導入

MMM2018年まで: 代表制をとっていた

しかし: 代表にタスクが集中

そこで: **代表を複数人**もうけ、タスクを分散し、一人当たりの負担を減らす

結果: それぞれが得意な分野で力を発揮できたものの、**課題も残る**

これから: さらにいいシステムを模索していく

新たな取り組み

事務局制の導入

MMM2018年まで: 事務作業もスタッフの仕事

しかし: 「**実行委員がやらなくてもいいタスク**」の発生

そこで: 事務局制を導入し、タスクを分化

結果: **実行委員の業務** (協賛周りやキュレーション) **に集中できた**

これから: このやり方を継続していく

ワークショップの実施分析 ①



佐々木さんワークショップ分析

地元の高校生の意見を通して那珂湊の特性や**那珂湊から離れていってしまう必然性・偶然性を見つめていく**作業が見られた。

「那珂湊駅のセブンティーンアイス」「反射炉」「何もない」

また、作家が高校生と対話して作品を作ることで、「芸」と地域の新たな、そしてとても強固なつながりを創出することに寄与していた。

ワークショップの実施分析 ②

君嶋さんワークショップ分析



地元の中学生の意見を通して那珂湊の特性や「ここに生きる」意味を考え直
していく作業が見られた。

「那珂湊といえば海だね」「海は変わらないものだと思う」「ブロックで 波作ってみようか」「思い出もずっと残るみたいなかんじ」

みなとやを活用することで、すでにあるコミュニティスペースへの介入による活性化、**ス
タッフと地域住民とのコミュニケーション**が見られた。

アート作品の影響分析

もにいさん作品「そして想像し逢う」というフィルター

日頃言えなかった**「ありがとう」をアート作品を通して見つめ直す**という流れが見られた。アート作品は難解で役に立たないという言説を壊してくれる一助になったのではないか？



全体を通して

「つながる。もこもこつながる。」というテーマに即して、**アートによる様々なつながりの「見える化」**があった。

アート作品それ自体の訴求性というよりも、**アート作品を通して覗くことができる、「那珂湊の本質」「住民の声」「アートに対するアーティストの思い」**が色濃く反映されたのではないか。

アートによって繋がろうとする意識ではなく、我々の「つながりたい」思いがアートによって可視化される、**手法としてのアート**が見られた。

クローズドな部分の分析

みなとハウスでの歓談について

毎日のようにみなとハウス(スタッフ住居)に**アーティスト・スタッフ・地元住民**
が出入りし、夜中まで話し合うことが多かった。

アートに関する核心的な議論や、那珂湊の未来などを話し合うことが多々あった。「**夜中によく話し合ってたじゃない？けどそんなことをするよりも、もっと外に出て、体を動かして、触れ合うべきだと思う**」

(2019MMM参加アーティストによる)

→インスタライブやラジオアプリなどを活用？

産業交流フェア ②MMM企画全体

・例年同一のWSを行っていたところから方向を転換し、MMM2019参加作家の**君嶋海裕**さんや**増田荘は音を出してはいけない**さん、**スタッフ主導の抽象画企画**などを開催した。

→MMMらしさをWSを通して表現し、MMMをのさらなる周知、興味をもってもらえることを目指した。

産業交流フェア③



今年のMMMの写真も展示



MMM
みなとメディアミュージアム

産業交流フェア ⑤産業交流フェア2019を終えて

- ・総じて**盛況で、多くの親子連れ**が来場した。
- ・**君嶋さんの作品が親子に非常に好評**だったなど、アート作品がもつポテンシャル(要定義)が垣間見られた。
- ・産業交流フェアから**MMM2020につなぐ周知には課題**が残った。

産業交流フェア ④スタッフ企画「親子で抽象画」

企画内容:「親子ともに絵の具・クレヨン・色鉛筆を使い抽象画を作っていき、絵を描く本来の楽しさを見つめ直す」

子供の反応: 普段はなかなか使わない**筆を楽しそうに使い、お母さんに呼ばれてもなかなか動こうとしない**くらい夢中になっていた。

大人の反応: 絵を描いている**お子さんの姿を写真に撮っていた**。恥ずかしながらもクレヨンを持って絵や**メッセージを描いてくれた**。

事務局報告

事務局の役割

執行機関(実行委員会が意思決定機関)

MMM実施・継続のための「意思決定の必要のない作業」および「意思決定が済んだ作業」の執行および実行委員会に提出する素案作成を担当。**実行委員会とは独立**

組織の非営利組織。プロフェッショナルとして効率のよい執行を実現。**現在、**

那珂湊事務局スタッフを募集中

リスク管理機関

「プロフェッショナル組織」として、関係者の生命に関する場合に限り、特権的な行動を認められている。



会計報告(2018年度)

収入の部

- 1.協賛金等 800,000円
- 2.事業収益
 - ARアプリ(予定) 540,000円
 - 観光案内板 207,200円
 - 那珂湊野外劇デザイン 150,000円
 - ひたちなか産業交流フェア 21,400円

3.利息 1円

合計 1,718,601円

支出の部

- 1.運営
 - 交通費等 484,235円
 - 事務用品等 60,620円
 - みなとハウス運営費 36,000円
 - ウェブ関係維持費 14,968円

2.広報
印刷費 50,910円

3.キュレーション
制作支援金 585,000円
会場設営費等 82,199円

合計 1,313,932円

MMM

みなとメディアミュージアム

会計報告(2019年度)

収入の部

- 1.協賛金など 675,825円 (昨年度事業費含)
 - 2.事業収益 0円 (今後、今年度事業費入金見込)
 - 3.利息 1円
 - 4.前年度繰越金 1,111,938円
※ARアプリ事業など含む
 - 5.借入金 595,000円
仮払金 100,000円
借入金 495,000円
 - 6.調整勘定 3,018円
- 合計 2,385,728

支出の部

- 1.運営 1319,592円
交通費・会議室費など 821,761
事務費(消耗品費・手数料など) 50,084
みなとハウス運営費 177,747
事務局人件費 270,000
 - 2.広報 117,380円
 - 3.キュレーション 848,753円
ワークショップ費 77,142
制作支援金・賞金 150,000
会場設営費・製作費 621,611
 - 4.その他
仮払金 100,000
次年度繰越金 330
- 合計 2,385,728

収支改善方針について

事務局サイドは下記を想定。実行委員会の審議を経て、順次実行していく。

- 1.クラウドファンディングの実施:
- 2.個人向け「友の会」の設立
- 3.協賛金の範囲および価格帯の拡大:協賛依頼企業を県内外や大企業、社会奉仕団体(ライオンズクラブ、ロータリークラブ、茨城三田会)に拡大。若者層に訴求力の高いTwitterやYoutube広告など、紙媒体への広告掲載なども検討
- 4.各種財団および省庁へのアプライ:文化庁、いばらき文化財団などを想定
- 5.新規事業の提案:有償ワークショップ、有償セミナーなどを想定。
- 6.寄付の拡大(今日もやっています!):オンライン化などを測り、拡大

「依存する」団体から、「共に稼ぐ」団体へ。

意見交換

休憩

行動指針

那珂湊の地域に、新しいもの・こと・人を
持ち込むことによって、那珂湊の特性などを
引き出す

テーマ(仮)

交差する 波が粒になる一歩手前

MMM2020について

MMM2020開催日程

プレオープンの開催：8月29日（土）、30日（日）

プレオープンとは？

- 会期開始前に、試験的にMMMを開催する会です。協賛をいただいた方や関係者の方、作家さんなどを招待して、MMM2020について紹介します

ねらい

- 制作過程などの説明などを通して、作品への理解を深めます
- 本番会期前に、意見を交換できます

MMM2020開催日程

会期:2020年8月31日(月)~9/12(土)

※プレオープン8/29(土)・30(日)

※休館日なし

- 例年の会期日数は3週間だったが、2週間とする。
ねらい:常駐スタッフの人数に偏りが出るのを避ける
短い期間による集客力増加

- 開催日を遅らせることで、今年問題となっていた暑さ対策にもつながる。